

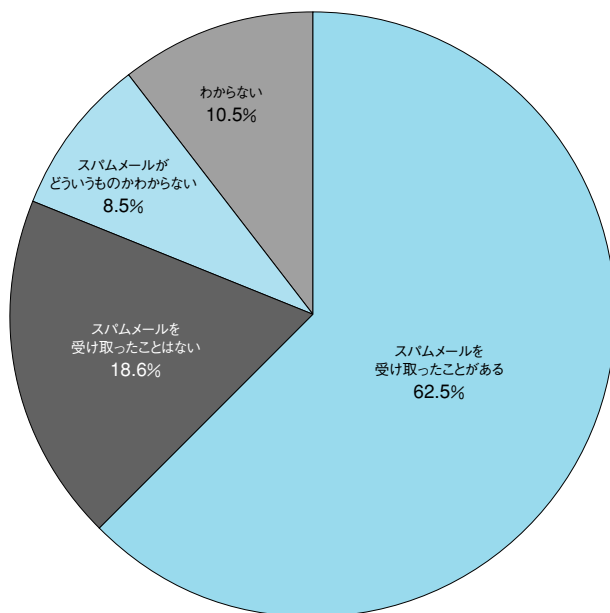
## スパムメール

第2部

個人利用動向

### 迷惑(スパム)メールの受信経験は62.5%

資料2-11-5 迷惑(スパム)メールの受信経験 N=2,000

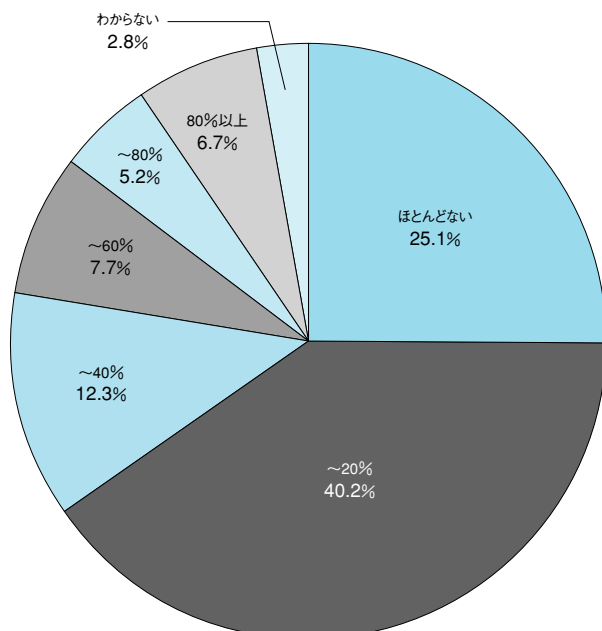


インターネット利用者がスパムメールを受け取ったことがある比率は62.5%である。メールソフトやISPにおいてもスパムメールを振り分ける機能やサービスが充実してきてはいるが、一度スパムメールを受信すると、以後スパムメールが来なくなることはほとんどないため、根本的な解決が望まれる。

©impress R&D,2007

### メールの2割弱が迷惑(スパム)メール

資料2-11-6 受信メールに占める迷惑(スパム)メールの割合 N=1,250



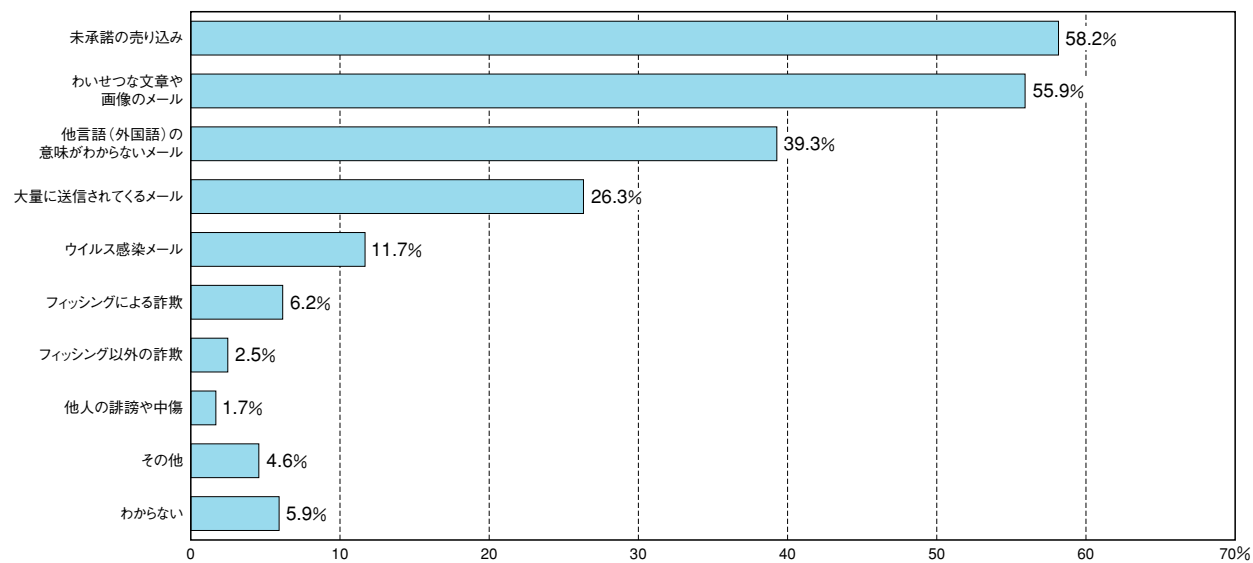
迷惑(スパム)メール受信経験者に、メール総数に占める迷惑(スパム)メールの割合を聞いたものであるが、「~20%」が40.2%と最も高い。概算であるが、個人の受け取るメール数と迷惑(スパム)メールの割合から、インターネット上でやりとりされているメールの2割弱が迷惑(スパム)メールと推計される。

©impress R&D,2007

## スパムメール

### 迷惑(スパム)メールの内容は未承諾の売り込みやわいせつ物

資料2-11-7 迷惑(スパム)メールの受信内容(複数回答) N=1,250



迷惑(スパム)メールの内容をみると、「未承諾の売り込み」と「わいせつな文章や画像のメール」が6割弱と高い比率である。また、「多言語(外国語)の意味がわからないメール」が4割弱で3位になっている。

©impress R&D,2007



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)